

キリストのからだとしての召会——神の新約エコノミーにおける奥義的な有機体

聖書：エペソ 1:22-23. 4:4-6, 11-16, 22-24, 30. 5:25 後半-27, 29. ローマ 8:2-13. 12:4-8

**I. 神のエコノミーの回る大いなる車輪には、キリストのからだをその軸としています：**

- A. 神の新約エコノミーの行動は、大いなる車輪が回ることのようにです——参照、エゼキエル 1:15-21。
- B. 神のエコノミーにおけるこの回る車輪は、キリストのからだをその軸としています：
  - 1. 神の行動と働きのすべては、キリストのからだと結合しており、キリストのからだのためです——エペソ 1:22-23。
  - 2. 神の働きの究極的完成としての新エルサレムは、全宇宙における神の行動の軸です——啓 21:2, 11. 22:1。

**II. 神のエコノミーの軸としてのキリストのからだは、三一の神の有機体です：**

- A. 召会は人によって造られた組織ではなく、命としての三一の神によって生み出された有機体です。
- B. キリストの描写であるまことのぶどうの木は有機体であり、それによって三一の神はご自身の永遠のエコノミーを完成します——ヨハネ 15:1：
  - 1. 命のある木は有機的であり、実を生み出すことができます。
  - 2. 命のない木のテーブルは組織的であり、実を生み出すことはできません。
- C. この有機体は、すべての信者と三一の神との結合とミングリングから成る構造です——エペソ 4:4-6：
  - 1. 御父はすべての上に（管理し顧慮し）、すべてを貫き（貫通し結合し）、すべての中におられる（居住し住む）パーソンです——6節。
  - 2. 御子は命の要素です。信者たちは、信じることを通してキリストの新しい命の要素に結合され、バプテスマを通して古いアダムの命の要素から断ち切られます——5節。
  - 3. その霊は命の本質です。キリストの命の霊は、キリストのからだの本質です。望みは、キリストのからだがこの本質の輝きで浸透されることです。それはキリストのからだにキリストの命の栄光の中へと入るためです——4節. コロサイ 1:27。
- D. この有機体のかたちを変える変化は、神と人とのミングリングです——エペソ 4:22-24：
  - 1. このかたちを変える変化は、情欲によって腐敗している古い人を脱ぎ捨てることであり、神にしたがって創造された新しい人を着ることです——22, 24節。

2. このかたちを変える変化は、信者たちが彼らの思いの霊の中で新しくされることを通して完成します—— 23 節。
  3. このかたちを変える変化は、証印としての神の聖霊が浸透することによる贖いを通して完成します—— 30 節。
  4. このかたちを変える変化は、キリストの命の言葉が養い、聖化し、洗うことを通して完成します—— 5:25 後半-27, 29 :
    - a. 養いは命における供給を与え、同時に温かい、優しい、愛情のあるはぐぐみを提供することです。
    - b. 聖化されることは、神へと分離され、神で浸透され、こうして造り変えられることです—— 26 節前半。
    - c. 洗うことはしみやしわを取り除き、神聖な有機体を聖く、栄光あるものとしします。
- E. この神聖な有機体の成長と、有機体がそれ自身を有機的に建造することは、神聖な命の中にあります—— 4:11-16 :
1. この有機体の中の賜物のある人たちは、他の人たちを成就し賜物のある人と同じようにし、その務めの働きを行なわせ、キリストのからだを有機的に建造します—— 11-12 節。
  2. この有機体が神聖な命において成長することは、有機体が神聖な命においてそれ自身を有機的に建造することと等しいのです—— 13 後半-16 節 :
    - a. わたしたちは愛の中で真実を堅く保って、すべての事で、かしらであるキリストの中へと成長し込む必要があります—— 13 節後半, 15 節。
    - b. かしらから、からだ全体はその豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、徐々に成長し、愛の中でそれ自身を有機的に建て上げるに至ります—— 16 節。
- F. この有機体の生活は、キリストのからだの団体的で有機的な生活です—— ローマ 12:5 :
1. すべての肢体は、キリストを命とすることによって共に生活します—— コロサイ 3:3-4 前半。
  2. すべての肢体は互いに顧みます—— I コリント 12:25-27。
  3. このような生活は、三一の神と三部分から成る人との結合とミングリングによって生み出された有機的な生活です—— ローマ 8:2-13 :
    - a. 命の霊の法則は神の新約エコノミーにおける奥義的な有機体のかぎです。わたしたちは祈りによって、また依存する霊を持つことによってこの法則に協力することができます—— 2 節, I テサロニケ 5:17。
    - b. まず、わたしたちは命の霊の法則を通して、キリストの霊によって、

わたしたちの霊の中で生かされました——ローマ 8:2, 9-10。

- c. 次に、わたしたちは神の広がる霊によって、わたしたちの魂の思いの中で生かされます—— 6 節後半。
- d. 最後に、わたしたちは神の内住の霊によって、わたしたちの死ぬべき体の中で生かされます—— 11 節。
- e. こういうわけで、わたしたちは思いを霊に付け、霊にしたがって歩き、神の内住の霊を通して体の行ないを死に渡さなければならないのです—— 6 節後半, 4 節後半, 11, 13 節。

G. この有機体の奉仕は、キリストのからだの団体的で有機的な奉仕です—— 12:4-8 :

- 1. あらゆる肢体が必要です—— I コリント 12:14-22。
- 2. あらゆる肢体は、それぞれの部分の度量に応じた活動にしたがって有機的に機能します。
- 3. この奉仕は、新約の福音の祭司の体系の有機的な奉仕です—— I ペテロ 2:5, 9 :
  - a. わたしたちは、福音を宣べ伝えて罪人を救い、彼らを犠牲として神にささげる必要があります——ローマ 15:16。
  - b. わたしたちは、信者たちを養い、彼らが成長するのを助ける必要があります。それによって、彼らは自分自身を生きた犠牲として神にささげることができます——ヨハネ 21:15, I ペテロ 2:2, ローマ 12:1。
  - c. わたしたちは、聖徒たちを成就して彼らにその務めの働きを行なわせ、キリストのからだを有機的に建造する必要があります——エペソ 4:11-16。
  - d. わたしたちは、聖徒たちが預言し神のために語るように導き、召会を有機的に建造する必要があります—— I コリント 14:1, 3-5, 12, 24, 31。
  - e. わたしたちは、労苦し、奮闘して、知恵を尽くしてキリストの中で完全に成長したあらゆる聖徒をささげる必要があります——コロサイ 1:28-29。